



新たな発見が生まれる

郷土の歴史を学ぶ

伝統文化を継承する

気軽に自由に過ごす

まち博へよう

飛騨高山
まちの博物館

城下町高山の新しい交流拠点「飛騨高山まちの博物館」

その収蔵品を紐解くと、現在に生きるわたしたちと過去の先人たちとの、刻を超えた出会いが待っています。

広報たかやまでは、収蔵品とそれにまつわるエピソードを紹介していきます。



濃州岐阜并
関ヶ原御合戦之図

利用のご案内

- ◆開館時間 展示室 午前9時～午後7時／
研修室 午前9時～午後9時／庭園 午前7時～午後9時
- ◆休館日 無休(臨時休館有)
- ◆観覧料 無料
- ◆駐車場 空町駐車場(市民の方は2時間無料です※証明書要)

〒506-0844 高山市上一之町75 ☎32-1205 FAX35-1970

市長だより②

「にぎわい」のある高山市をめざして

高山市長 **國島芳明**

高山を取り囲む山々が、錦おりなす紅葉のピークを迎えています。東日本大震災以降、大きく減少した観光客もようやく前年並みの入込みとなってきており、激減していた外国人観光客の姿も、目にするようになってきました。

震災以降、特に原発事故による放射能汚染や風評被害の解決に力を注いできました。このような広域的で重大な問題には、一自治体として取り組むには限界がありますが、幸いにして、国内外から多くの皆様の理解と支援をいただき、世界各地での誘客事業や放射能汚染に対応する観測調査体制の整備、食の安全確保、被災住民の受け入れなど、さまざまなかして具体的な活動を実施することができました。これらの問題が完全に解決し、多くの観光客で賑わう高山市を一日も早く取り戻すため、全力で頑張りたいと思います。

先月16日から25日まで、アメリカ・デンバー市とペルー・ウルバンバ郡へ出張しました。国際交流を通じ、各都市が協働して共通の目標に取り組むことは、市の国際感覚の醸成を促進するばかりでなく、高山市の情報を広く世界に発信するまたとない機会であり、人や物や情報が国を越えて相互に行き交う原点と考えています。姉妹都市であるデンバー市に加え、世界遺産マチュピチュを有するウルバンバ郡との友好交流に大きな期待をしています。

人の魅力、まちの魅力、高山の魅力

第五章 金森氏六代

金森氏は、天正14年(1586)に戦国時代の武将である金森長近が飛騨の国主となつて、江戸時代の元禄5年(1692)6代頼岑まで107年にわたつて飛騨国を治めました。今日の高山の基礎は、街道の整備、山林・鉱山の開発、産業や文化の振興に力を入れ、善政により豊かな国づくりを進めた金森氏の業績によります。

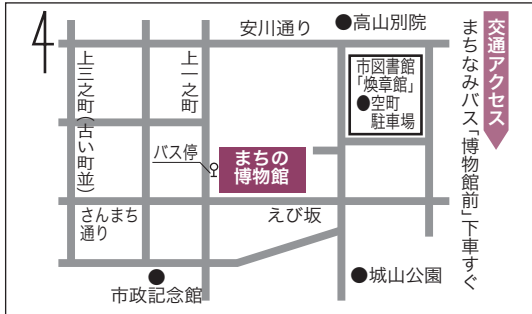
初代長近は、天文10年(1541)に織田信長に仕え、その後、豊臣秀吉、徳川家康の家臣として各地を転戦し、歴史に残る戦いで活躍したことが知られています。「金森氏六代」の展示室では、その活躍の足跡を絵図や写真で紹介し

ています。

その中で「濃州岐阜并関ヶ原御合戦之図」は、関ヶ原の戦いとその前哨戦における各諸將の配陣が描かれたものです。東軍として関ヶ原に布陣した金森法印(長近)や、西軍の郡上八幡城を攻めた金森出雲守(可重)の名前があり、その後の歴史を左右する大きな戦いと金森氏の関係がわかります。

長篠の戦いや大坂の陣などの布陣図と併せて、戦場を駆け巡つた長近・可重に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。

問合せ
まちの博物館
☎32-1205



交通アクセス
まちなみバス「博物館前」下車すぐ